

C08J 仕上げ；一般的混合方法；サブクラス
C 0 8 B , C 0 8 C , C 0 8 F , C 0
8 G または C 0 8 H に含まれない
後処理（プラスチックの加工，例．成形 B 2
9 ）[2]

注

（ 1 ）このサブクラスはポリマーの処理であって C 0 8 B から
C 0 8 H に含まれない方法を包含する。[4]

（ 2 ）このサブクラスにおいては，ラストブレイス優先ルール
が適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示が
ない限り，最後の適切な箇所に分類する。[2]

（ 3 ）このサブクラスに分類するときは，使用された物質が検
索のために重要な情報を意味すると考えられる場合，サブクラ
ス C 0 8 L に付加的に分類してもよい。[8]

- 3/00 高分子物質の処理方法または混合方法[2]
- 3/02 ・ 溶液，乳化または懸濁重合以外の方法に
よる溶液，分散液，ラテックスまたはゲ
ルの製造 [2]
- 3/03 ・ ・ 水性媒体中のもの [5]
- 3/05 ・ ・ ・ 固体ポリマーからのもの [5]
- 3/07 ・ ・ ・ ポリマー溶液からのもの [5]
- 3/075 ・ ・ ・ 高分子ゲル [6]
- 3/09 ・ ・ 有機液体中のもの [5]
- 3/11 ・ ・ ・ 固体ポリマーからのもの [5]
- 3/12 ・ 粉末化または粒状化 [2]
- 3/14 ・ ・ 溶液からの沈殿によるもの [2]
- 3/16 ・ ・ 分散液の凝集によるもの [2]
- 3/18 ・ 高分子化合物の可塑化（可塑剤 C 0 8 K ）
[2]
- 3/20 ・ 重合体と添加剤との混合，例．着色 [2]
- 3/205 ・ ・ 液相で存在中のもの [5]
- 3/21 ・ ・ ・ ポリマーが液相で前混合されるもの
[5]
- 3/215 ・ ・ ・ ・ また少なくとも 1 個の添加剤が液相
で前混合されるもの [5]
- 3/22 ・ ・ マスターバッチを使用するもの [2]
- 3/24 ・ 高分子物質の架橋，例．加硫，（機械的特
色 B 2 9 C 3 5 / 0 0 ; 架橋剤 C 0 8 K ）
[2]
- 3/26 ・ ・ ラテックスの架橋 [2]
- 3/28 ・ 波動エネルギーまたは粒子線による処理
[2]
- 5/00 高分子物質を含む成形品の製造（半透膜の
製造 B 0 1 D 6 7 / 0 0 ~ B 0 1 D 7 1 /
0 0 ）[2]
- 5/02 ・ 分散液，例．ラテックス，から直接に成
形品を製造する方法 [2]
- 5/04 ・ 解繊されたまたは凝集した繊維状物質に
よる高分子化合物の補強 [2]
- 5/06 ・ ・ 前処理した繊維状物質を使用するもの
[2]
- 5/08 ・ ・ ・ ガラス繊維 [2]

- 5/10 ・ ・ 重合体混合物で使用される添加剤に特
徴のあるもの [2]
- 5/12 ・ 前もって形成された高分子物質と同種ま
たは他の固体物との接着，例．接着剤に
よる金属，ガラス，との接着 [2]
- 5/14 ・ 研磨性または摩擦性の物品または物質の
製造 [2]
- 5/16 ・ 摩擦性の減少された物品または物質の製
造 [2]
- 5/18 ・ フィルムまたはシートの製造 [2]
- 5/20 ・ イオン交換樹脂の成形体の製造 [2]
- 5/22 ・ ・ フィルム，膜または隔膜 [2]
- 5/24 ・ その場で重合しうるプレポリマーによる
物質の含浸，例．プレプレグの製造 [2]
- 7/00 高分子物質から製造された成形体の処理ま
たは被覆（金属材料による被覆 C 2 3 C ;
金属の電着 C 2 5 ）[2]
- 7/02 ・ 溶媒，例．膨潤剤，を使用するもの [2]
- 7/04 ・ 被覆 [2 0 2 0 . 0 1]
- 7/043 ・ ・ 被覆それ自体の接着性を向上するもの，
例．プライマーを形成するもの（ポリマ
ー担体と接着剤との間のプライマーに特
徴のある膜または箔の形状のもの C 0 9
J 7 / 5 0 ）[2 0 2 0 . 0 1]
- 7/044 ・ ・ 導電性被覆を形成するもの；帯電防止
性を持つ被覆を形成するもの [2 0 2 0 .
0 1]
- 7/046 ・ ・ 耐磨耗性被覆を形成するもの；表面硬
化被覆を形成するもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 7/048 ・ ・ ガスバリア性被覆を形成するもの [2
0 2 0 . 0 1]
- 7/05 ・ ・ 難燃性被覆または耐火性被覆を形成す
るもの [2 0 2 0 . 0 1]
- 7/052 ・ ・ ヒートシール性被覆を形成するもの [2
0 2 0 . 0 1]
- 7/054 ・ ・ 防曇または防滴性被覆を形成するもの
[2 0 2 0 . 0 1]
- 7/056 ・ ・ 親水性被覆を形成するもの [2 0 2 0 .
0 1]
- 7/06 ・ ・ 高分子物質を含まない組成物を使用す
るもの [2]
- 7/12 ・ 化学的変性 [2]
- 7/14 ・ ・ 酸，その塩または無水物を使用するも
の [2]
- 7/16 ・ ・ 重合性化合物を使用するもの [2]
- 7/18 ・ ・ ・ 波動エネルギーまたは粒子線を使用
するもの [2]
- 9/00 多孔性または海綿状の物品または物質にす
るための高分子物質の処理；その後処理（多
孔質または細胞質物品の製造のためのプ
ラシックあるいは可塑状態の物質の成形に
おける機械的特徴 B 2 9 C ）[2]
- 9/02 ・ 高分子の製造または変性時に反応単量体

	または変性剤によって発生するガスを使用するもの [2]	11/02	・ 溶剤，可塑剤または未反応単量体 [4]
9/04	・ 予め添加された発泡剤によって発生するガスを使用するもの [2]	11/04	・ 重合体 [2]
9/06	・ ・ 化学的発泡剤によるもの [2]	11/06	・ ・ 化学反応を伴わないもの [4]
9/08	・ ・ ・ 二酸化炭素を生ずるもの [2]	11/08	・ ・ ・ 重合体成分に対する選択的溶剤を使用するもの [4]
9/10	・ ・ ・ 窒素を生じるもの [2]	11/10	・ ・ 重合体の分子鎖または架橋を化学的に切断することによるもの，例 . 脱加硫 (原単量体への解重合 C 0 7) [4]
9/12	・ ・ 物理的発泡剤によるもの [2]	11/12	・ ・ ・ 乾熱処理のみによるもの [4]
9/14	・ ・ ・ 有機性のもの [2]	11/14	・ ・ ・ 蒸水処理のみによるもの (ガス，コークス，タールまたはこれらの類似物を製造するための炭素質物の分解乾留 C 1 0 B) [4]
注			
グループ 9 / 1 6 から 9 / 2 2 においては，下記の用語は以下に示す意味で用いる：[8]			
“ 発泡性 ” とは，発泡中のもの，前発泡したものまたは発泡したものも含む。[5]			
9/16	・ 発泡性粒子の製造 [2 ， 5]	11/16	・ ・ ・ 無機材料を用いる処理によるもの (C 0 8 J 1 1 / 1 4 が優先) [4]
9/18	・ ・ 発泡剤を重合体粒子に含浸させるもの [2]	11/18	・ ・ ・ 有機材料を用いる処理によるもの [4]
9/20	・ ・ 発泡剤の存在下に懸濁重合するもの [2]	11/20	・ ・ ・ ・ 炭化水素またはハロゲン化炭化水素を用いる処理によるもの [4]
9/22	・ 発泡性粒子の後処理；発泡生成物の成形 [2 ， 5]	11/22	・ ・ ・ ・ 酸素含有有機化合物を用いる処理によるもの [4]
9/224	・ ・ 表面処理 [5]	11/24	・ ・ ・ ・ ・ 水酸基を有するもの [4]
9/228	・ ・ 発泡生成物の成形 [5]	11/26	・ ・ ・ ・ ・ カルボン酸基，その無水物，またはエステルを有するもの [4]
9/232	・ ・ ・ 発泡性粒子の焼結によるもの [5]	11/28	・ ・ ・ ・ 窒素，いおうまたはりんを含有する有機化合物を用いる処理によるもの [4]
9/236	・ ・ ・ 結合剤を使用するもの [5]	99/00	このサブクラスの他のグループに分類されない主題事項 [8]
9/24	・ 粒子の表面溶融および結合による空隙の形成，例．焼結 (発泡性粒子の焼結 C 0 8 J 9 / 2 3 2) [2 0 0 6 . 0 1]		
9/26	・ 高分子組成物または物品から固相の除去，例．溶解 [2]		
9/28	・ 高分子組成物または物品から液相の除去，例．凝固物の乾燥 [2]		
9/30	・ 液状組成物またはプラスチックにガスを混合するもの，例．空気の吹込み [2]		
9/32	・ マイクロバルーンを含む組成物からのもの，例．シタクチックフォーム [2]		
9/33	・ 発泡体片を塊状化するもの，例．廃発泡体 [5]		
9/34	・ 発泡高分子芯体およびそれより高密度の高分子表面層からなる物品の製造における化学的特徴 [2]		
9/35	・ 複合発泡体，すなわち，不連続多孔性粒子または断片を含む高分子連続発泡体 [5]		
9/36	・ 後処理 (C 0 8 J 9 / 2 2 が優先) [2 ， 5]		
9/38	・ ・ セル膜の破壊 [2]		
9/40	・ ・ 含浸 [2]		
9/42	・ ・ ・ 高分子化合物を使用するもの [2]		
11/00	廃物の回収または処理 (プラスチックの回収 B 2 9 B 1 7 / 0 0 ；廃重合体またはその解重合生成物の精製または再使用を包含する重合プロセス C 0 8 B ， C 0 8 C ， C 0 8 F ， C 0 8 G ， C 0 8 H) [4]		